

事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事業

(1) 事業の経過およびその成果

(単位：千円)

事業別	当初予算額	決算額	達成率
育英奨学事業 (注1)	109,192	102,228	93.6%
学術研究等助成事業	21,364	28,721	134.4%
資料館庭園運営管理事業	37,203	40,501	108.9%

(注1) 育英奨学事業には貸与奨学金(予算：45,140千円 決算：41,590千円)を含んでいる。

(2) 直前事業年度の財産および損益状況

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (当該事業年度)
経常収益	150,616	171,182	179,498
評価損益等調整前 当期経常増減額	37,547	15,674	11,756
当期経常増減額	245,597	20,788	△13,869
正味財産期末残高	4,403,175	4,382,174	4,349,165

(3) 主な事業内容

事業	主要な事業の内容
育英奨学事業	奨学金の無利子貸与および給付 奨学生集会の開催
学術研究等助成事業	自然科学の研究に対する助成 自然環境保護活動に対する助成
資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営 庭園・山林・遊歩道の整備
不動産賃貸事業	集合住宅の管理運営

(4)従たる事務所の状況

名 称	所在地	事業内容
東京事務所	港区新橋 5-6-4-701	首都圏の大学への当会事業の周知 収益事業である集合住宅の管理

(5)収益事業に関する事項

集合住宅名称	所在地	建物内容	入居者数	管理会社
コーポ順	東京都世田谷区	鉄筋 4 階建 771.03 m ²	11 戸	(株)日立不動産

(6)重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約期間 契約金額	契約の概要
平成 24 年 4 月 1 日	EY 税理士法人	1 年間 (毎年更新) 1,200 千円	定期提出書類の作成支援業務 会計等に関する相談業務

(7)職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務
事務局長	山崎 壽浩	平成 7.6.5	事務局総轄
管理部長	原 久晴	昭和 61.4.7	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	荒井 能弘	平成 22.9.1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	渡部 夕子	平成 2.4.1	東京事務所の事務・資料館管理
一般事務	山口 広美	平成 13.2.20	本部事務所の庶務

(8)役員会等に関する事項

①理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 26.5.28	平成 25 年度事業報告・計算書類等承認について	承認
〃	第 3 回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	選考委員 3 名辞任による 3 名の選任について	可決
〃	平成 26 年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	平成 26 年度学術研究助成について	可決
〃	平成 26 年度自然環境保護活動助成について	可決
平成 27.3.25	平成 26 年度予算の見直しについて	可決
〃	平成 27 年度事業計画について	可決
〃	平成 27 年度予算について	可決
〃	法人の規程制定について	可決
〃	選考委員の選考について	可決

②評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 26.6.24	平成 25 年度事業報告の内容報告について	了承
〃	平成 25 年度計算書類等の承認について	承認

(9)株式を保有している場合の概要

企業名	保有株式数	保有割合	入手経過	企業との関係
JX ホルディングス	3,656,190 株	0.1 %	寄付受入	取引なし
北越メタル	278,000 株	1.4 %	寄付受入	取引なし

(10)対処すべき課題

無利息貸与奨学金の返還が当初計画のとおり履行されない者の数が年毎に増加している。本人に事情を聴取し連帯保証人に対しても返還指導を依頼して、事情がある場合には返還計画の変更を認める等の対応をしている。

資料館および庭園・遊歩道の見学人数が団体の見学により多くなり、週末に集中するようになっている。週末の対応は一人で行っていることから、防犯や安全の面で注意喚起し、事故のない運営を行うことに努めたい。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
理事長	山口敬太郎	2年	常勤	規程による	選考委員兼務
常務理事	山崎 壽浩	2年	〃	〃	事務局長 選考委員兼務
理事	三角 哲生	2年	非常勤	〃	二階堂学園理事長
〃	松木 道夫	2年	〃	〃	
〃	森地 茂	2年	〃	〃	
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	

(2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
監事	一色 誠一	2年	非常勤	規程による	
〃	高橋 實	2年	〃	〃	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	西尾 進路	4年	〃	〃	
〃	古瀬 裕	4年	〃	〃	選考委員兼務
〃	福壽 道夫	4年	〃	〃	
〃	丸山 武	4年	〃	〃	
〃	佐藤 浩治	4年	〃	〃	
〃	高橋 清逸	4年	〃	〃	
〃	林 久	4年	〃	〃	
〃	岩野 宏	4年	〃	〃	

(4) 役員等の報酬

区分	人数(名)	報酬等の総額(千円)	備考
理事	6	20,711	
監事	2	89	
評議員	9	200	
選考委員	11	89	
合計	28	21,090	

事業報告の附属明細書

1. 事業に関する記載事項

(1) 育英奨学事業について

①奨学金貸与人数・貸与額・返還免除額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計 (名)	奨学金 貸与総額(千円)	奨学金 返還免除額(千円)
大学院生	4	5	9	4,000	650
大学生	48	21	69	41,400	8,750
留学生	11	3	14	6,440	850
合 計	63	29	92	51,840	10,250

②奨学金返還者数・返還額

区 分	貸与奨学金返還者 (名)	返還額 (千円)
大学院生	28	4,599
大学生	158	39,207
短大生	3	395
高専生	4	483
高校生	7	534
留学生	46	11,393
合 計	246	56,611

③奨学生集会

奨学生の研修指導の目的で8月27日～28日（1泊2日）の日程で開催した。

計画当初は集会参加者の定員を40名としたが希望者が多かったので、宿舎を増やして59名全員を受け入れた。

来賓による講演会や元奨学生のバイオリニストによる演奏会、また、環境保全活動の理解を目的とした山林保全作業および遊歩道の植物観察を実施した。

宿舎では奨学生の懇談会を実施した。

内容は次のとおりである。

実施内容

1 日目	全国各地より本部に集合
	【奨学事業についての理解】
	開会～理事長挨拶、参加役員の紹介、奨学生の自己紹介
	講演会 演題「文明開化の恩人 山口権三郎」 星 貴 氏 (NST 新潟総合テレビ 番組ディレクター)
	バイオリン演奏会&トーク 高雄 敦子さん、井上 静香さん
	郷土資料館・庭園の見学
	奨学生の懇談会
2 日目	【環境保護活動への理解】
	山林保全作業 (植林地の下草刈り、間伐作業の体験)
	遊歩道の散策と植物観察 (案内 小国生物友の会)
	閉会～JR 長岡駅へ移動～解散

奨学生集会参加者には貸与奨学金年額のうち、2 ヶ月分の返還を免除した。

④その他

機関誌「山びこ」47 号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

(2) 学術研究助成事業について

①研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 11,375,000 円の助成金を交付した。

1. 東京大学 生産技術研究所 准教授 川添 善行
研究題目 地域の産業や技術、素材を活用した新しい建築の可能性
2. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所 担当 鴨田 重裕
研究題目 カシノナガキクイムシの発生が確認された南伊豆地域での対策
3. 東京大学 大学院情報学環 特任講師 阿部 卓也
研究題目 大学における知識供給経路の再構造化のための情報デザインの研究
4. 新潟大学 医歯学系 特任准教授 岸 将史
研究題目 細胞極性制御因子によるシナプス接着調節機構の解析

5. 新潟大学 工学部 准教授 三俣 哲
研究題目 磁性ソフトマテリアルの鎖構造を用いた可変電気伝導システムの創製
6. 新潟大学 工学部 准教授 大嶋 拓也
研究題目 地表面音響特性への気象の影響解明に関する基礎研究
7. 長岡技術科学大学 准教授 西村 泰介
研究題目 植物のリプログラミング過程における DNA メチル化の役割
8. 長岡技術科学大学 准教授 野村 収作
研究題目 唾液・毛髪・爪に含まれるホルモンを用いた精神的ストレスの評価研究
9. 新潟工科大学 教授 飯野 秋成
研究題目 市街地郊外の宅地開発の進行に伴うヒートアイランドの形成に関する数値解析
10. 長岡工業高等専門学校 教授 坂井 俊彦
研究題目 鉛を含まない有機-無機ペロブスカイト化合物太陽電池の開発
11. 長岡工業高等専門学校 助教 押木 守
研究題目 水田土壌由来 N_2O ガスの生成経路および生成細菌の同定
12. 東北大学 助教 岡田 佳憲
研究題目 トポロジカル結晶絶縁体の原子スケール電子状態イメージング
13. 山形大学 准教授 安達 義也
研究題目 強磁性形状記憶ホイスラー合金の Cr 置換効果と高圧物性
14. 富山大学 助教 吉野 惇郎
研究題目 フォトクロミックな 4 配位カチオン性ホウ素錯体の合成に関する研究
15. 信州大学 准教授 三澤 透
研究題目 星間空間におけるフラーレン探査とその生成メカニズムの解明

②自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、
総額 5,767,833 円の助成金を交付した。

1. NPO 法人 ブナ友の会 担当者 阿部 幸雄
活動名 五頭「みんなの森づくり」事業
2. 愛宕山雪椿保存会 担当者 柳田 宏光
活動名 愛宕山のユキツバキ群落の保全管理育成
3. 手づくり村 相川 担当者 和田 明裕
活動名 手づくり村 相川
4. NPO 法人 新潟の科学・自然探偵団 担当者 吉田 隆
活動名 わたしの学校にもサイエンス・サーカスがやってきた
(中山間地や離島の小規模校における出前型環境教育・科学技術理解促進活動)
5. NPO 法人 ウッディ阿賀の会 担当者 袖山 要一
活動名 海岸保安林保全育成活動
6. NPO 法人 信越トレイルクラブ 担当者 木村 宏
活動名 信越トレイル整備による里山の生物多様性の保全と自然環境教育活動
7. 上栗集落活性化委員会 担当者 原 正之
活動名 ブナ林の復活と山道保全活動プロジェクト
8. 森林インストラクターと市民有志 担当者 松田 英也
活動名 自然観察林・湿生植物園環境改善事業
9. 東京大学大学院農学生命科学研究科 担当者 浅野 友子
活動名 森林の保健休養機能増進のための薪需要構造と森林所有者の連携可能性
の検討
10. 佐渡在来生物を守る会 担当者 品川 三郎
活動名 佐渡島における外来生物対策のための市民組織「佐渡在来生物を守る会」
立ち上げ

11. 新潟渡り鳥の会 担当者 向井 喜果
活動名 福島潟および周辺水田におけるコハクチョウの食性に関する研究

12. 下村集落振興協議会 担当者 山崎 忠吉
活動名 八石ぼたん（白根葵）の生育環境の把握と保護方策の検討
かたこ（かたくり）群生地保護

③その他助成、支援事業

学術研究助成事業の「その他助成・支援事業」として

i 東京大学基金 さつき会奨学金	500 万円
ii 公益財団法人日本ナショナルトラスト	300 万円
iii 公益社団法人女子プロ将棋協会	100 万円
iv 小国町文化協会	50 万円
v 大字横沢協議会	50 万円

(3) 資料館庭園運営管理事業について

①資料館・庭園・遊歩道の見学および散策が増えているので、見学者用の駐車場の舗装工事とトイレの建設工事を行った。

資料館等を中心とした各放送局の取材には積極的に対応して、公益事業を広く理解してもらうように努めている。見学者は1,718名であった。

②「遊歩道散策・植物観察会」として、当会所有の庭園と山林に整備した遊歩道を散策し植物を観察する会を実施した。地域の植物同好会の協力者が説明や案内を行い、25名の一般参加があった。

③資料館・庭園・山林の案内資料を、他の公共施設や資料館等に置いてもらい広く告知して、市民や一般に見学者の来訪をうながしている。